



高石小学校だより

『 たくましい子・かしい子・いよくのある子・やさしい子 』



2021.
2.12.
NO.38.
文責：弘瀬

～2020年度 学習発表会をふりかえって～

2月6日（土）の参観日に学習発表会を行いました。今年度は午前中に校内発表会、午後から保護者向けの発表会を行い、体育館が密にならないように2回発表の場を設けました。午後からの体育館は前後の列の間隔も2メートルほどあけることができました。保護者の皆様は自分の子どもさんの出番前後にと気を使っていたようですが、最後まで見ていただきたかった各学年とも力のこもった発表会だったと思います。学習発表会は各学年が学習してきた総合的な学習や生活科など、今の時代や生活、地域と密着した内容を取り上げています。これからも地域に誇りを持ち、これからを生きる子どもたちがめざすよりよい未来についての発表ができるようにがんばっていきます。



1年 「できるようになったよ」

2年「大きくなった ぼく・わたし」



1年間を振り返って

- ①できるようになったこと
- ②昔あそび
- ③2年生でがんばりたいこと

これはすごい！という技も見せてくれました。

生活科の学習でお家の人から聞いた生まれた時のことや思い出を一人ひとり聞かせてくれました。それぞれの名前に込められた願い、生まれた時に心配したことなど。よく眠った、人見知りだった、モリモリ食べて元気になったなど愛情をいっぱい受けて育ててもらったことを実感しました。

3年 「みんなが暮らしやすくなるために」



総合的な学習や国語などで学習した

- ①パラリンピックについて
- ②ユニバーサルデザインについて
- ③高齢者について

いろいろな物を使ったり、工夫したりすれば障がい者も高齢者もみんなのように生活できることを紹介してくれました。



みんな十人十色、違うことは誇らしいこと、心のバリアをなくそうと寸劇でわかりやすく説明してくれました。高石をバリアタウンからバリアフリータウンにすることをめざして、車いす、視覚・聴覚障害の人へどう接すればよいか教えてくれました。来週21日の土佐市社会福祉大会でも発表します。

5年「思いを受け継いで ～防災学習を通して」



東日本大震災から10年。津波でたくさんの児童・先生の命が失われた大川小学校の出来事を絵本の朗読と合奏で聞かせてくれました。妹思いだった子、昆虫が大好きだった子、卒業式の袴を楽しみにしていた子のお母さんたちがひまわりの世話をしながら思い出す子どもたちのこと。しっかり伝わりました。

6年 「No "with コロナ"、We "beat コロナ" ～公害問題に学ぶ～



修学旅行で行った別子銅山と社会科で学習した公害、熊本水俣病についての劇でした。今から65年前の水俣の状況を、ある家族と主人公ともやの成長とともに追っていきます。いわれもない他の地域からの差別や風評被害は今のコロナの時代もある。だからこそ水俣の失敗をくりかえさないでみんなで一緒にコロナと戦っていきましょうという6年生の宣言に心打たれました。

新型コロナウイルス感染症対策について

～高知県のステージ特別警戒(赤)から警戒(オレンジ)へ～

令和3年1月22日に高知県のステージが警戒(オレンジ)に引き下げられました。それに伴って学校を欠席する場合の出席停止の対応が変更になっています。

特別警戒(赤)→警戒(オレンジ)

出席停止

- ・感染が判明した者
- ・感染者の濃厚接触者に特定された者
- ・発熱等の風邪症状がみられる者

・同居の家族に発熱等の風邪の症状がみられる者→ この条件がなくなりました。

これからも学校欠席の連絡には発熱の様子や症状などについてくわしくお聞きしますのでよろしくお願いたします。

